



桜

桜の語源には諸説ある。最も有力な説は「咲く」に「花」を加えた「サクハナ」が変化したという説。遠い昔から、日本では桜が花の代名詞だったのだ。

桜の語源にはもうひとつの説がある。「サ」は稲の神を、「クラ」は「座」を表し、つまり桜は「稲の神が鎮座するところ」とする説だが、どうやら有力な説ではないらしい。

見渡せば一面の水田地帯。それを見守るように咲き誇る桜の花。その壮絶な美しさもはかなく散り果てると、もうすぐ田植えの季節。あながち「稲の神」も間違いないのかも知れない。